

事実と意見を読み分ける

つかえる国語 五年

4まい目 あらわす

考えと理由を文章で書く

1 2 3 4

めやす15分

答え

名前

五年一組は、ユニセフ募金^{ぼきん}の新聞記事の下書きを書きました。【下書き】と【先生のメモ】を読んで答えましょう。

1 【先生のメモ】が「見直しましょう」と言っているのは、①③のどのだんらくですか。番号で答えましょう。

答え

②

メモの▲の指摘^{してき}を読もう。

【下書き】

① 五年一組は、十月に、ユニセフ募金^{ぼきん}の呼びかけを行いました。

② 募金^{ぼきん}の金額は、一日目は三千二百円で、二日目は五千百円に増えたので、来月はもっとふえるはずです。

③ 募金^{ぼきん}は、来月も続ける予定です。

2 ②を、事実の文と意見の文に分けて書き直します。よいものを、ア〜エからえらびましょう。

ア 一日目は三千二百円、二日目は五千百円でした。もっと多くの人に協力してもらえよう、来月も続けたいと思います。

イ 一日目は三千二百円で、二日目は五千百円に増えたので、来月はもっとふえるはずです。

ウ 一日目より二日目の方が、集まった金額は多かったです。

エ 募金^{ぼきん}は、来月も続ける予定です。

答え

ア

3 ②を書き直して、新聞記事の下書き全体を書き直しましょう。「もっと」という言葉を使い、八十字以内で書きましょう。

つかうことば もっと

五年一組は、十月にユニセフ募金^{ぼきん}の呼びかけをしました。一日目は三千二百円、二日目は五千百円でした。もっと多くの人に協力してもらえよう、来月も続けたいと思います。

【先生のメモ】

○ 活動の内容と数字は、正確に書けています

▲ 事実と意見が、一つの文に混ざっているところを見直しましょう